

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2019-213648(P2019-213648A)

【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2018-111622(P2018-111622)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月22日(2021.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた演出量設定範囲の中に、下限値から上限値までの複数の設定演出量が設けられていて、

遊技者の操作に基づいて前記演出量設定範囲の中から設定演出量を決定可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

操作により前記演出量設定範囲の中から上限設定演出量を決定可能な操作手段を備え、前記演出制御手段は、

前記上限値よりも小さい上限設定演出量が決定された場合に、遊技者の操作に基づいて前記下限値から当該上限設定演出量までに限り設定演出量を決定可能にすることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記上限値よりも小さい上限設定演出量が決定されている場合に、遊技者の操作に基づいて当該上限設定演出量を超える設定演出量が選択されると、設定演出量を増加できないことを示す設定演出量不可表示を実行することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、

予め定められた演出量設定範囲の中に、下限値から上限値までの複数の設定演出量が設けられていて、

遊技者の操作に基づいて前記演出量設定範囲の中から設定演出量を決定可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

操作により前記演出量設定範囲の中から上限設定演出量を決定可能な操作手段を備え、

前記演出制御手段は、

前記上限値よりも小さい上限設定演出量が決定された場合に、遊技者の操作に基づいて前記下限値から当該上限設定演出量までに限り設定演出量を決定可能にすることを特徴とする遊技機である。